

普及現地情報



発信年月日:令和6年(2024年)8月20日
所属名:湖東農産普及課
番号:F240010
発信者名:溝口

湖東地域集落営農法人連絡協議会が先進地視察研修会を開催

湖東管内には58の集落営農法人があり、うち47法人が湖東地域集落営農法人連絡協議会(事務局:湖東地域農業センター)に加入しています。7月25日~26日に静岡県において先進地視察研修を実施し、会員43名、関係機関14名の参加がありました。今回の視察は、集落営農法人の次世代育成、高温耐性品種の作付拡大を図るため、その主旨に沿った視察先を訪問しました。

1日目は掛川市の(有)佐東ファーム代表から経営概要と今後の経営展開について説明いただきました。掛川市南部の佐東地域4集落を統括する同法人は、平成12年に1集落(岩滑)のみで法人を設立し、役員の高齢化などから平成22年には近隣3集落を統合し、新役員3名、従業員3名で組織を再編し、現在77haまで経営拡大されています。

その特徴は、4集落の統合組織であること、現役員、従業員が農業経験がなく運営していることです。参加者からは今後の集落営農連携、若手世代の発掘や育成について集落で議論していきたいとの前向きな意見がありました。

2日目は静岡県農林技術研究所の研究者から湖東管内でも作付けが拡大している高温耐性の多収品種「にじのきらめき」の品種特性、栽培上の留意事項等をお聞きした後、ほ場見学を行いました。同品種を栽培している法人代表からは、品種の細かな栽培管理(田植え時期、施肥方法等)について大変勉強になったとの感想がありました。

今後も関係機関と連携し、集落営農法人の体質強化に向け、支援していきます。



写真1 (有)佐東ファームの視察研修



写真2「にじのきらめき」の栽培ほ場見学